

ネイチャーセンター ガイド (76)

「ヒミズ小僧の喜怒哀楽 喜・喜・喜・喜」
「喜」

2004・5・7 金曜日 快晴という日の快晴

この日、新宿から「何もないから都留つつる」なまちへ300余名の高校生たちが、バス8台でやってきた。

県道高畑線も久しぶりの観光バスの走行にビックリだったが、それより宝の山のいきものたちが驚いたのではないかと、いと思う。愉快でささくな大人たちを探ることが活動の裏テーマ、そして本気で遊ぶことが表のテーマだった。活動の内容は、竹でご飯を炊くこと。なにより1年生になったばかりの子どもたち同士、仲良くなることが最大のテーマ。

「喜」

この大人数に見られることが快感。そう思えることが楽しさにつながり、子どもたちも最初ははずかしいけどいつのまにか一緒におどっていた。

子どもたちの未知の引き出しを、少しずつだけ開いた気がした。

「喜」交流

都留の親父と東京の若者が交じり合う、こんなステキな出会いはない。世代を超えた体験交流はいつまでも後世に残していきたいもの。技を心を経験を！

「喜」

愚痴と不安と自分らしさを探し続けたこの日。子どもたちの胸には、どんな思いが残っただろうか？

私はそれを知らない。子どもたちしか知らない。知る方法はいくつかある。子どもたちの表情だ。表情を



みれば雰囲気をつかめる。この子たちの表情をみてやってください。

本当にステキな出会いをありがとう。涙・・・！

湯原真の放浪日記 第七回「やっぱり…」

どーも！早くも小麦色にやけ、夏を先取りしてるつもりの湯原です。

先日、宝の山に「新宿の高校一年生」が300人超やってきました。彼らはバリバリの都会っ子、どんな子どもたちなのかといろんな妄想を膨らませ待っていました。そして彼らは到着、いろんな活動を通してふれあっていると、ステキな若者たちでした。喜んだり、怒ったり、哀しんだり、楽しく過ごしました。オレたちと同じでした。ドコに住んでいても、やっぱり人間、ふれあうことがサイコーのコミュニケーションだと感じたッス。



連絡・問合先 ☎(45)6222
宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前9時から午後4時まで
休館日：月曜日、祝祭日の翌日

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部(大月保健所)

障害者ケアマネジメント
について

ケアマネジメントとは、障害をもつ人が地域において生活する中でサービスを利用する際、生活全般にわたるニーズに対応するために、各種サービスを適切に結びつけたり、調整をはかりながら、継続的に利用できるようにする援助方法です。

障害をもつ人もたない人も共に生活し活動できる社会の構築を目指すノーマライゼーションの理念に基づき、障害をもつ人の自立と社会参加を促進するために、サービス利用者やそのご家族が望んでいる暮らし、生活を実現するための「ケア」を必要に応じてマネジメントさせていただきま

す。障害をもつ人の福祉に関する諸制度について、また利用の仕方についてお知りになりたい方は、障害福祉担当にお気軽に御相談ください。

問合先 健康福祉部障害福祉課

☎(22)7826

食中毒にご用心！

食中毒は、細菌性・自然毒・化学物質食中毒と3つに大別されます。細菌性食中毒は食中毒のおよそ9割を占めています。そのなかでも、梅雨から夏に多発する腸炎ビブリオ菌は、海水に広く分布し海水の塩分を好み、20度以上の気温下では必ず抜けて速い速度で増殖するので、油断できません。魚介類を調理する時は真水で食材をよく洗い、加熱調理することが有効な予防対策になります。

食中毒を防ぐには、まずは、菌についての正しい知識と、それに対する危険意識を持つことが重要です。食品を取り扱う前には殺菌効果のある石鹸で手洗いを心掛けましょう。

また、食材の温度管理は大変重要です。冷蔵庫を過信せず、冷気が循環しやすい7割活用を保ち、温度計で庫内温度を確認しましょう。最後に充分加熱調理を心掛けましょう。

「菌を付けない・増やさない・殺す。」食中毒予防の3原則です。

伝言板